

## 第2回日中韓気象学会共催シンポジウムのお知らせ

2005年5月13～14日に、東京大学の本郷キャンパスで行われた日本・中国・韓国気象学会共催による第1回東アジア気象学会国際シンポジウムに引き続き、第2回の国際シンポジウムを韓国気象学会の主催で以下のように行います。

日本気象学会では、東アジアでの気象学会の交流を深めるための取り組みを強化してきました。この国際シンポジウムは、2004年に韓国気象学会から提案された、日・中・韓気象学会の交流を促進するためのシンポジウムです。毎年、3か国の気象学会で持ちまわって開催することが提案され、第1回は、日本気象学会の開催、第2回が、韓国気象学会の開催となったものです。

**期 日：**2006年11月11～12日（13日は、韓国気象学会の秋季大会です）

**場 所：**ソウル（4月中に決定の予定）

シンポジウムのテーマは、“High Impact Weather and Climate on Socio-economic Communities in East Asia : Understanding and Prediction” というもので、Typhoon, Asian Dust, East Asian Monsoon, and Coupled GCMなどのテーマがあげられています。日本からは、別枠として、THORPEXのセッションが行われる予定です。

今回のシンポジウムは、誰でも参加できるものです。但し、会期が2日間と限られているため発表時間に制限が起きる可能性がある点を留意しておいてください。また、旅費の支援はありませんので、各人の負担で参加をお願いいたします。

参加希望者は、日本気象学会事務局へ申し込んでください。今のところ、明瞭な締め切りは提示されていません。